令和６年４月２日

本年度も豊かな学校風土を築く

南九州市立霜出小学校
校 長　 石 川　雅 実

新学年度が始まりました。転任された先生方の空席を見ながら寂しさを感じていましたが，新任の先生方が出そろい，職員室に賑わいが戻ってきました。

新任の先生方に対して，引継ぎや新年度の準備を進める先生方の姿を見て，頼もしさを感じると共に自身の背筋を伸ばす思いがしました。本年度もきっと素晴らしい一年になると思いました。

学校だけではなく，保護者や地域の方々，関係機関等との連携を更に深め，充実した教育活動を展開し，学力向上，豊かな心の育成，健康・安全教育等の充実を図っていきたいと思います。

学校風土については昔から教職員は風，保護者や地域の方々は土地と形容されます。教職員は爽やかな風を，保護者，地域の方々は豊かな土地を耕し，学校のよき教育風土を形成していきたいものです。

教児共に日本一楽しいと思える学校，そして，共に育つ教育「楽校共育」の創造に向けて，信頼できる教職員と共に，一生懸命に取り組んで参ります。

令和６年４月８日

「また始まった」が言える喜び

南九州市立霜出小学校
校 長　 石 川　雅 実

令和６年度新任式，始業式，入学式を行いました。子どもたちは瞳を輝かせ，やる気満々で学校生活をスタートさせました。「また新たな年度が始まった。」と言える喜びを噛みしめています。同時に子どもたち同様，心機一転，新たな気持ちで新年度を迎えました。

昨年度までの課題や反省点を生かしながら，学力向上や心の教育の推進，体力・気力の向上等に，研修意欲旺盛な教職員と共に「想像と創造」を大切にしながら取り組んで参ります。また，学校，家庭，地域の持つそれぞれの教育機能を最大限に発揮し合い，確かな信頼関係と連携のもと「子どもたちのために」を合言葉に，全ての教育活動の充実を図って参りましょう。教職員は爽やかな風を，保護者，地域の方々は豊かな土地を耕し，よりよき学校「風土」を形成して参りましょう。

教児共に日本一楽しいと思える学校の創造に向けて，自分にできることは何かを常に自問自答しながら取り組んでいきたいと思います。

令和６年４月９日

未来への想像と創造

南九州市立霜出小学校
校 長　 石 川　雅 実

現在の自分を過去や未来から眺めてみると新たな発見があるかも知れません。現在の姿をいろんな視点から見つめ直し，新たな何かを創造していく能力は，人間固有の能力です。人工知能（ＡＩ）には負けない各個人の個性や特性なのだと思います。

今現在，十年前の自分にどんな言葉をかけてあげられますか。逆に十年後の自分からなんと言われたいですか。過去の自分からは「よくがんばったね。あのときの努力が報われたね。」と優しく声をかけてもらいたいし，未来の自分からも「今の頑張りのおかげで，将来はとても幸せだよ。」と，励ましてもらいたいものです。

先行き不透明で明確な目標や夢を持ちにくい現代ではありますが，こんな時代だからこそ，将来に明るい展望を抱き，想像と創造という人間の人間らしい能力を大切にしていきたいものです。自分勝手な自己中心的な幸せの追求，生き方ではなく，自他共によりよく生きる道を想像し，創造していきたいものです。

令和６年４月１７日

朝の清々しい出来事

南九州市立霜出小学校
校 長　 石 川　雅 実

ピカピカの１年生の女の子が高学年のお兄さん，お姉さんたちと通学してきました。横断歩道を渡り終わり，元気よく笑顔であいさつを返してくれました。

しばらくして先ほどの女の子らしき泣き声が聞こえてきました。大きなランドセルを背負っているため，バランスを崩して転んだようです。女の子を助けに行こうとすると，一緒に歩いていた高学年の子どもたちが，すぐに女の子に駆け寄ってくれました。私は転んだ女の子に優しく声をかけ，援助してくれるのだろうと安心しました。しかし，私の予想はよい意味で外れました。その子たちは何も言わず，ただ女の子の横にちょこんと座ったのです。ほんの少しの間だったと思います。女の子が泣き止んだ瞬間に，「行こう。」と言って手をつなぎ，一緒に学校へ向かって行きました。

絶妙のタイミングで「行こう。」の一声，なんと思いやりに溢れた行為でしょう。高学年の子どもたちの言動に，朝から清々しい気分になりました。

令和６年４月１９日

こいのぼり掲揚に想う親心

南九州市立霜出小学校
校 長　 石 川　雅 実

　校門前や校庭にこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。霜出小ＰＴＡ活動の一環として，こいのぼり掲揚作業を悪天候の関係で２回に分けて行いました。掲揚の準備を役員の方々，そして，掲揚作業を有志の方々で行っていただきました。お忙しい折に時間を作ってくださり，作業に取り組む姿を拝見しながら，感謝の気持ちでいっぱいになりました。また，楽しそうに作業をされる姿も印象的でした。

　学校と保護者，地域との連携はお互いの活動の趣旨や想いを伝え合うことから始まると思います。子どもたちに親心がしっかりと届くように機会を捉えて伝えていきたいと思います。

　子どもたちにはこいのぼりのように，天高く，大きく羽ばたいてほしいと思います。保護者の方々のお姿から「親想う心に勝る親心」という先人の言葉を思い出しました。いつの世も変わらぬ親の子への想いだと思います。

　こいのぼりが元気よく泳ぐ姿を見つめながら，清々しい気分になりました。

令和６年４月２４日

親の後ろ姿から学ぶ

南九州市立霜出小学校
校 長　 石 川　雅 実

　ＰＴＡ総会を開催しました。総会後，家庭教育学級の開講式も行いました。私のつたない講話を頷きながら真剣に聴いてくださる保護者の方々のお姿を拝見しました。とても嬉しくなると同時に自身の職責や言動の重さを強く感じました。

　他者の話を聴くことは大切なことなのですが，難しいことでもあります。ついつい違うことを考えたり，思ったりするからです。話をしっかり聴くということを，当たり前に実践している保護者の方々のお姿に感動しました。

　このような行為を子どもたちに伝えるのも学校の大切な役目だと思います。子どもたちには親の後ろ姿をよく見て，素晴らしい善行を学んでほしいと思いました。

　学校，家庭，地域との三者連携は，時代が変わっても重要で必要不可欠なものです。赴任して以来，保護者や地域の方々の子どもたちへの深い愛情を感じます。それぞれの教育機能を発揮し合い，子どもたちの健全育成につなげていきたいと決意を新たにしました。